

その他害虫

オオタバコガ *corn earworm, cotton bollworm*(*Helicoverpa armigera*)



オオタバコガ幼虫



成虫（前翅の長さが約15～20mmで、羽の先が黒色帯状の不鮮明な斑紋あり）



オオタバコガのフェロモントラップに頻繁に誘殺されるフタスジキョトウガ、羽の斑紋がオオタバコガと異なるので容易に判別できる。この蛾による被害はない。

【発生生態】

オオタバコガはヤガ科の飛来性害虫で7月～9月に発生する。広食性害虫でキク、カーネーション、トルコギキョウ、バラなどの花き類やトマト等の果菜類および葉菜類など多くの作物で寄生被害が確認されている。成虫の寿命は10～12日で1頭のメス成虫は400～600個産卵し、卵は若い葉の裏、花房などに一個ずつ産み付ける。幼虫は若葉や花卉の中に潜り込んで食害するため、食害された株は出荷できなくなるため、フェロモントラップを利用した防除を行う。

アズキノメイガ (*Ostrinia scapularis*)



茎内の食害

【見分け方】

一時、フキノメイガといわれていたことがある。卵は淡灰黄色で約1mmの扁平な楕円形である。数十粒を卵塊で葉裏に産み付ける。幼虫は頭部が暗褐～黒褐色で光沢があり、胸部背面は淡灰黄色である。老熟すると体長約25mmに達する。成虫は前翅長が11～14mmである。雌は淡黄褐色で前翅は黄色で暗褐色の紋が2個と犬牙状の波線が3本ある。雄は雌に比べて細長く、暗褐色である。前翅は紅褐～暗褐色で犬牙状の波線は黄色、後翅は暗褐色で中央部に黄色の斑紋がある。近縁のアワノメイガに似ているが、雄の中脚の頸節が肥大している点で異なる。

【発生生態】

成虫は夜行性で羽化後数日で産卵を開始する。卵は5～7日で孵化し、若齢期の幼虫は頂芽や花に侵入加害し、次いで葉柄や茎に侵入加害する。幼虫の食入孔からは糞や咬屑が排出される。